

福岡県でランピースキン病の ワクチン接種開始！

今般のランピースキン病の発生を受け、福岡県で11月21日よりランピースキン病のワクチン接種が開始されています。

当該ワクチンを接種した牛に由来する牛肉はアメリカ合衆国への輸出が認められないのでご注意ください。

- ・ 当該ワクチンを接種した牛は米国向け輸出牛肉取扱施設への搬入ができません。
- ・ 当該ワクチンを接種した牛には、売買、市場出荷、と畜場出荷等の搬出の際に福岡県から発行されるワクチン接種証明書が搬出先に受け渡されるよう手配されていますので大切に保管してください。
- ・ 現在、当該ワクチン接種牛が米国向け輸出牛肉取扱施設へ搬入されないことの確認体制や、当該ワクチン接種牛の産子を当該ワクチン接種牛と同様に取り扱わないこと等について米国と協議中です。
- ・ アメリカ合衆国向けの輸出食肉取り扱い施設については、岐阜県内では飛騨食肉センター（飛騨ミート農業協同組合連合会）が該当します。

2024年11月6日以降、福岡県の8農場（乳用7農場、乳用・肉用1農場）、熊本県の1農場（乳用）で本病の発生が確認されています。（11月26日現在）

感染拡大を防止するために

- ・ 毎日の健康観察、早期発見、早期通報
（疑わしい牛を確認したら、隔離、移動の自粛）
- ・ 害虫の防除（殺虫剤の散布など）
- ・ 他の畜産関係施設で使用した飼養器具を持ち込まない
やむを得ない場合は洗浄、消毒を実施
（逆性石鹼、エタノールなど一般的な消毒薬が有効）

本病の症状等については、農林水産省HPをご覧ください



ランピースキン病に関する情報：農林水産省
www.maff.go.jp

中濃家畜保健衛生所

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください

つながらない場合は 0574-25-3484 へ。土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けています。